





# 2016年 宗教者が

## 宗教者の正義

昨年大きな国際問題といえは、シリア難民の大量流出だ。

シリアではアサド政権、反政府勢力、ISなど複数の勢力が泥沼の戦争をつづけている。それが数百万人規模の難民を生み出し、ドイツをはじめとした欧州各国へと流れ込んでいったのである。

私はノンフィクションの書き手として度々こうした舞台を訪れてきた。日本の事件や災害と比較して異なると感じるのは、現地の宗教者の声の大きさを。

日本では事件や災害や事故が起きた時、宗教者が声高にそれに言及することは決して多くない。限定された狭い空間の中で語ることがあっても、表に出て人を導くような形で声を上げることは少ない。日本で宗教者がそれをやる「理想論」とされて、ともすれば胡散臭く見なされてしまう。



石井 光太 ノンフィクション作家

## 回復力を高めるために

通常とは違った方向へ進むと戦争を収束させるようにまがる。戦争が起これば向かっていくものなので「復讐せよ」の声が大きくなる。

ただ、世の中が「回復力」を持つには、人々が共通認識として正義を理想として認める必要がある。無数の価値観が認められ、世の中がどこへ向かっていくかわからない時代だからこそ、私は日本の宗教者たちが語る、いや語るねばならない正義、というものがあろうと思う。

人間にとって、何より命悲劇はある。被害が大きければ大きいほど、世の中はとを認識していれば、自ら復力だと思っている。人

## 今、立憲主義を考える

長谷部 恭男 早稲田大学法学部 学術院 教授



しかし、いずれ人々はこの破壊的メカニズムに気づく。人生の意義、宇宙の存続を不利益に扱うような価値観を設けず、またこの動向が現れても不思議で、世で平和な社会を築き、人は、社会の分裂を招きかねない深刻な対立の火種となる。

人々の抱く価値観が根本的に異なるレベルで対立している状況で、しかも多様な価値観の対立が、人々の生活に支える共通の仕組みの中

に侵入しないよう歯止めをかける必要がある。たとえば、特定の宗教を信じていることが、社会生活を営む上で有利な地位(有利な資源配分)を意味するような仕組みが設定されると、人が生きていく上で必要な資源配分の対立が、根本的な価値観の対立と結びつけられることになる。

自分にとって真に大切な価値観、たとえば宗教については、自分自身から大切に思う価値観に結びつけられたら、さうしてそれを共有する仲間として、その価値観を

## 価値観の対立

無難、日本と海外では、置かれている状況がまったく違うから、一括りにして語ることはできない。しかし、日本人でもそこから何かを学び取ることはできるのではないかと考えている。その時代にも、戦争や災害や事件や事故といった悲劇はある。被害が大きければ大きいほど、世の中はとを認識していれば、自ら復力だと思っている。人間にとって、何より命悲劇はある。被害が大きければ大きいほど、世の中はとを認識していれば、自ら復力だと思っている。人間にとって、何より命悲劇はある。被害が大きければ大きいほど、世の中はとを認識していれば、自ら復力だと思っている。



# 2016 謹んで新年のご挨拶を申し上げます 平成28年

(五十音順)

だい えい かい きょう だん  
**大慧會教団**  
 会長 石倉 恒男  
 〒599-8126  
 大阪府堺市東区大美野142-14  
 TEL 072(236)1601  
 FAX 072(237)3107  
 URL http://www.daiei-kai.jp

一切を生かす  
**大和教団**  
 教主 保 積 秀 胤  
 法理 保 積 志 胤  
 監査 平 松 千 明

宗教法人  
**天眞山 晃妙寺**  
 住職 松本 晃 芳  
 役員 一同  
 大阪府枚方市福地平野町四ノ一四  
 電話 〇七二一八五七四五六番

七 曜 会  
 理事長 眞 塩 陽 一 郎  
 電話 〇三三四六六六〇二六

日 之 教  
 管理代表役員 佐久間 一 光  
 本部 東京都新宿区高田馬場四ノ二九三〇

妙道会教団  
 会長 佐原 慶 治  
 本部 〒543-0034 大阪府天王寺区松ヶ崎四ノ三  
 電話 〇六六七七二〇五〇

宗教法人  
**大 日 然 教**

玉 光 神 社  
 宗教心理学研究所  
 本山生命物理学研究所  
 国際宗教・超心理学会  
 本山人間科学大学院(MIHS)  
 〒181-0001 東京都三鷹市井の頭四ノ十一ノ一  
 電話 〇四三二四八四四九五

天 光 教 總 本 部  
 大阪府天王寺区東上町八番十四号  
 電話 〇六七二二二三八番

パ ー ソ ン リ バ イ ー 教 団  
 教主 御 木 貴 日 止  
 大本庁 大阪府富田林市新堂二七一一  
 電話 〇七二二四一一二代巻

法 人 教 法 公 会  
 会 長 柳 原 光 徳  
 総本山 〒472-0023 愛知県知立市西町亀池二十四  
 電話 〇五五六八二三七五九

宗教法人  
**三輪神道宏充教本部**  
 管 長 吉 川 允 恵  
 大阪府津野区新今里三丁目二番二十号  
 電話 〇六七五二二七〇九番

大日如来様御奉戴の  
 宗教法人 **光妙教会**  
 大法輪台意  
 大日如来様御聖業奉讃会

天 恩 教  
 教主 鉢 呂 神 龍  
 理事長 鉢 呂 金 太郎  
 〒619-1301 京都府相楽郡笠置町  
 大字有市小字西狭間一帯地  
 電話 〇七四三九五二七八六

宗教法人 **天心教本庁**  
 教 主 天 元  
 羽曳野市古市一ノ六一八  
 電話 〇七二九五六〇八五五番

宗教法人 **日月神一条**  
 管 長 嘉 納 良 樹  
 吹田市内本町一丁目九の四  
 電話 〇六三八一四一九番

や つ み た け じ ん じ ゃ  
**八津御嶽神社**  
 宮司代表役員 山 本 行 徳  
 東京都中野区本町二の七の六番地  
 電話 〇三三三三三三三三三

宗教法人  
**大 和 教**  
 管 長 教 祖 保 積 敬 子  
 宮城県塩竈市南町六一五  
 電話 〇二二二二二二二二二





# ミャンマー、タイへ第25次アジア青年平和使節団

## 新宗連

# 終戦70年 - 「平和への巡礼Ⅱ」

### 2月19~26日に実施

新日本宗教団体連合会(新宗連、保積秀胤理事長)と新日本宗教青年会連盟(新宗連青年会、岩淵明大委員長)は2月19日から26日まで、平成27年度に展開してきた「第50回『8・14式典』—平和推進事業』の最終プログラムとして「終戦70年—「平和への巡礼Ⅱ」」をミャンマーとタイに派遣する。新宗連青年会主催の「第25次アジア青年平和使節団」に併せて実施するもの。新宗連青年会の平和使節団は、1974(昭和49)年に第1次を派遣以来、代々の新宗連青年会役員者によって継承されてきた取り組みで、今回第25次となる。

「世界平和と絶対非戦」新宗連青年会は「戦争犠牲者慰霊並に平和祈願式典(8・14式典)での祈りに基づくプログラムとして、1968(昭和43)年から73(昭和48)年にかけて「沖繩問題研究ゼミナール」を実施した。日本への復帰前後の沖縄に触れ、「真の慰霊とは何か」を探索していった。

「8・14式典」の会場、千島ヶ淵戦没者墓苑は「無名戦死の墓」とも称されており、先の大戦で激戦地となった東南アジア各国や太平洋諸島に「野ざらし」のままとなっている遺骨を収集して納めることからも、新宗連青年会として一時期、遺骨収集団の派遣を熱心に検討していた。一方、同時期にルポライターの竹中芳氏を招いた学習会で「日本は被害者意識が強く、日本人だけの慰霊に拘っている。東南アジアの人々にとって日本は加害者だ」との指摘を受け、改めて第2次世界大戦の実態を見つめ直し、74(昭和49)年3月、第1次東南アジア青年平和使節団(アジア使節団)を組織した。この平和使節団を継続して来た。現在「8・14式典」で唱えている「すべての戦争犠牲者慰霊」という精神は、第1次使節団では、その象徴としてタイ王国・カン

「世界平和と絶対非戦」新宗連青年会は「戦争犠牲者慰霊並に平和祈願式典(8・14式典)での祈りに基づくプログラムとして、1968(昭和43)年から73(昭和48)年にかけて「沖繩問題研究ゼミナール」を実施した。日本への復帰前後の沖縄に触れ、「真の慰霊とは何か」を探索していった。

「8・14式典」の会場、千島ヶ淵戦没者墓苑は「無名戦死の墓」とも称されており、先の大戦で激戦地となった東南アジア各国や太平洋諸島に「野ざらし」のままとなっている遺骨を収集して納めることからも、新宗連青年会として一時期、遺骨収集団の派遣を熱心に検討していた。一方、同時期にルポライターの竹中芳氏を招いた学習会で「日本は被害者意識が強く、日本人だけの慰霊に拘っている。東南アジアの人々にとって日本は加害者だ」との指摘を受け、改めて第2次世界大戦の実態を見つめ直し、74(昭和49)年3月、第1次東南アジア青年平和使節団(アジア使節団)を組織した。この平和使節団を継続して来た。現在「8・14式典」で唱えている「すべての戦争犠牲者慰霊」という精神は、第1次使節団では、その象徴としてタイ王国・カン



タンビユザヤにある日本軍が建てた慰霊碑(右)と、日本人が建てた仏塔(左)



ミャンマー側の泰緬鉄道起点には、当時使用された機関車と過酷な労働を偲ばせる人形が展示されている

チャナブリ県サイヨーク・ノイ・ナムトクにタイ式の供養塔(サンフア)を建立した。こうして2014(平成26)年に派遣された第24次まで40年にわたり続てきた。今年もこの精神を継承するものとして、また昨年5月に派遣した「平和への巡礼Ⅰ」第7回沖繩第1次使節団では、その象徴としてタイ王国・カン



チャイカミの寺院で祈る人々



行程中に立ち寄る予定のノアラホー・バヤからの風景

「平和への巡礼Ⅱ」では、この地で慰霊祭を行う

「平和への巡礼Ⅱ」では、この地で慰霊祭を行う

「平和への巡礼Ⅱ」では、この地で慰霊祭を行う

「平和への巡礼Ⅱ」では、この地で慰霊祭を行う

「平和への巡礼Ⅱ」では、この地で慰霊祭を行う

## 宗教事情と国情学ぶ

### 2月の平和使節団訪問前に ミャンマー学習会

新宗連青年会は12月11日午後1時半から、東京・代々木の新宗連会館で「ミャンマー学習会」を開催した。「平和への巡礼Ⅱ」第25次アジア青年平和使節団(2月19~26日)がミャンマーに慰霊のために訪れることから、同国の宗教事情と国情について学んだ。岩淵明大委員長があいさつ。同使節団の歴史や意義を説明し、11月下旬に事前調査団としてミャンマーを



新日本宗教青年会連盟

はじめに「8・14式典」に触れ、同式典の精神が「反戦・非戦」にあると言及。「8・14式典」と無関係な青年会活動はない」と述べ、「慰霊ができるのは宗教者のみ。もっと自負を持って式典を行ってほしい」と青年らを激励した。また、ミャンマーにある種々のパゴダ(仏舎利塔)の中でも、訪問すべきパゴダについて説明し、同国の

「平和への巡礼Ⅱ」では、この地で慰霊祭を行う

宗教法人 和光道教団本部

月読の命奉斎 神の葉でみる神占

大阪府天王寺区末町二丁目十三番 電話 六六七(一)四八〇番

新日本宗教青年会連盟

本部事務局 首都圏総支部 近畿総支部 北陸総支部 関東総支部 中部総支部 中国総支部 四国総支部 九州総支部 奥羽総支部 北海道総支部 東北総支部

青近連 青北連 青四連 青中連 青東連 青北関連 青九連 青道連 青中国連 青奥連 青東北連

2016 平成28年

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

(五十音順)

公益財団法人 庭野平和財団

理事長 庭野浩士

160-0022 東京都新宿区新宿一丁目一六番九号

立正佼成会

会長 庭野日鏡

理事長 川端健之

千166-8537 東京都杉並区和田一丁目一五番

世界宗教者平和会議日本委員会

公益財団法人

理事長 杉谷義純

千166-0012 東京都杉並区和田一丁目一五番